

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 慢性冠動脈疾患における Contrast 定量的血流比 (Quantitative Flow Ratio ; QFR) 機能の有効性についての検討

[研究責任者] 医療技術局 臨床工学室 中谷 友樹

[研究の背景]

慢性冠動脈疾患に対して見た目の評価だけではなく、実際に虚血状態になっているかの検査を行うことの重要性が示されている。近年、より低侵襲な虚血評価を行う手法として 定量的冠血流比(Quantitative Flow Ratio、以下 QFR)が注目されている。これは 2 方向より撮影されたアンギオ画像より作成された 3D 血管モデルを作成し、造影剤の流れる速さから虚血評価を行うものである。従来は薬剤投与とガイドワイヤーの挿入が必須であったが、これが不要となるため冠血流予備量比 (Fractional Flow Reserve、以下 FFR) と比較して低侵襲であり FFR とも高い相関を持つことが FAVOR Trial (従来の虚血診断法である FFR と比較して QFR がどの程度の精度・相関をもって診断できるかを解析した試験) でも示されている。この QFR には ContrastQFR と呼ばれる機能があり、タンデム病変に対する治療戦略決定の手助けとなる可能性がある。

[研究の目的]

ContrastQFR の有効性について検討する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2019 年 1 月 1 日から西暦 2022 年 6 月 1 日までに岡崎市民病院で経皮的冠動脈インターベンション (Percutaneous coronary intervention ; PCI) を施行した方。

●研究期間：西暦 2022 年 6 月 24 日～2022 年 7 月 23 日

●利用する検体、カルテ情報

- ①年齢、性別、身長、体重、既往歴(主に心疾患の危険因子にあたるもの)
- ②血液所見 (既往歴を調査するための所見)
- ③臨床検査所見(心電図、心臓エコー、心筋シンチグラフィ等)
- ④画像診断結果(冠動脈造影、経皮的冠動脈インターベンション、ならびに機能性虚血評価の値)
- ⑤治療内容(冠動脈造影、経皮的冠動脈インターベンションで使用した材料について)

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

医療技術局 臨床工学室 中谷 友樹

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913